



～おはなしと絵本を楽しむ～

おはなしグループ「パルランド」通信

第28号

2023年6月



図書館のおはなし会が終わったあと、時々参加されているお母さんとおはなしすることがあります。

ある日、「子どもに本を読んでいて、子どもの知らない言葉が出てくるけれど、そのたびに説明したほうがいいんでしょうか？」ときかれました。おはなしや絵本の中には、普段使わないことばや物などがよくでてきます。今の子たちにこれわかるかなあと思うものもいっぱいありますね。

そのことばがわからなくても、おはなしを楽しんでいたらそのまま読み進めてはいかがでしょうか。子どもなりに分からないことも想像しながら聞いていたりします。つい先回りをして説明したくなりますが、子どもが聞いてきたらその時に説明してあげるくらいで、親子ともが楽しいと感じるのが一番だと思います。

『知る』ことは『感じる』ことの半分の重要でない」と「センス・オブ・ワンダー」の本の中にも書かれています。とくに幼い子には、知ることよりも楽しいと感じることがたくさんあることを願っています。



おすすめのおはなし



ふしぎなたいこ

げんごろうさんは、ふしぎなたいこを持っていました。片方をたたいて「鼻高くなれ」というと、鼻が高くなる。もう片方をたたいて「鼻低くなれ」というと、鼻が低くなるたいこです。

このたいこは、人を喜ばせるためにしか使ってはいけなかった。

ところが、ある日げんごろうさんは、人間の鼻がどれくらい伸びるかためしてみたくなり…



石井桃子 文
清水崑 絵
岩波書店



おすすめの絵本

かさどろぼう



スリランカの小さな村に住む、キリ・ママおじさんは、町で初めてかさをみます。喜んで買って帰りますが、途中で休憩をしている間に盗まれてしまいます。何度買っても同じ、いつも盗まれてしまいます。

そこでおじさんは、かさどろぼうを見つけるためにいいことを思いつきました。

おじさんのかさは、みるかのでしょうか？犯人はだれ？

おおらかなストーリーと鮮やかな色彩の素敵な絵本です。

シビル・ウェットンシンハ さく
いのくまようこ やく
徳間書店



おはなしの記録 3月～5月実施

「おおかみと七ひきのこやぎ」「くまさんのおでかけ」「世界でいちばんきれいな声」「とりのみじい」「ねことねずみ」「ひなどりとねこ」「ふたりのあさごはん」



図書館のおはなし会は、子どもたちといっしょに保護者の大人の方にも楽しんでいただいています。じっと耳をすませて聞かれている方も。

みんながひとときおはなしの世界を楽しみほっこりしていただけただら嬉しいと思います。



図書館大きな子のおはなし会

毎月第1土曜日 午前10時30分～
(30分程度)
おはなしのへやにて

内容：ストーリーテリングと絵本など
※予約はいりません。お気軽にご参加ください
ただし図書館が休館のときはありません

～想像の翼を大きく広げて～

耳から聞くおはなしの楽しさを多くの人に届けます。興味のある方はぜひ一度聴いてみてください。また、ご希望の場所に出かけて、おはなしを語ることも可能です。お気軽にご相談ください。

【おはなし会のお問い合わせ】
西脇市図書館（電話 0795-23-5991）
パルランド 丸山（電話 090-8930-0921）



パルランド通信は「パルランド」が発行しています。